グループホームより

秋の味覚

グループホームでは、毎年秋にあたご柿を収穫して干し柿を作ります。今年は不作の年と諦めていましたが、利用者様のご家族様より柿を頂き、干し柿づくりを行うことが出来ました。

皆さんで力を合わせて皮むきを行いました。昔取った杵柄で、90歳の方が包丁を使い、手早くとても薄く皮むきをしてくださいました。また、他の利用者様は柿を間隔よく紐に吊るしてくださいました。

笑顔溢れる時間を堪能する事が出来ました。お正月にみんなで美味しくいただきました。

デイサービス みらいより

干支作り

毎年恒例の干支の置物作りを行いました。

見本と型紙を持っていくと「今年もそんな時期が来たんなぁ」と言ってくださいました。

布地に型どりをする方、切る方、縫う方、綿を詰める方とさまざまな役割があります。「私はもうできんよ」と言いながらも縫う手つきは昨年と変わっていない方、「どうするんじゃった?あんた」と隣の席の方に聞きながら作業される方、少しずつ綿を箸や手を使って上手に入れる方など、様子は様々です。「味があって可愛いなぁ」と言いながら喜ばれ、完成を楽しみにされています。

干支の置物を飾ると、『1年を通して家族を守る』と言われています。

来る年も良い年になるようにと願いを込めながら、可愛いうさぎがたくさん完成しています。

ゆめの里入所より

余暇活動の取り組み

ゆめの里入所では、余暇活動として、脳トレプリントやぬり絵、貼り絵等に取り組んでいただいています。中でも貼り絵は入所者様に好評です。作品を作りたいと言われる利用者様が多く、季節に合わせた絵柄の下絵を準備しています。ぬり絵や貼り絵は楽しみだけではなく、色選びや指先を使うことで、認知症の進行予防やリハビリになるため、積極的にお勧めしていきたいと思います。

職員が手編みで車椅子のフットレストカバーを作りました。高齢になると皮膚が弱く少しの衝撃でも傷が出来やすいため何かないか?と考えたところ、手編みのカバーを思いつき、作成しました。

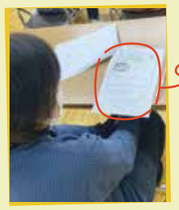
入所者様から好評で「私も欲しい!」との声があがっています。

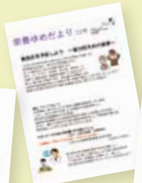
栄養士より 地域の活動に参加しました

管理栄養士が毎月発行している『栄養ゆめだより』をきっかけに、茶屋町いきいきセンターで開催されているサロンで話をさせてもらうことができました。今回のテーマは「冬の高血圧予防」です。

サロンに来られている方は健康に過ごすために食事や運動にとても気をつけておられ、配布した資料にメモを取りながら熱心に話を聞いてくださいました。

冬の高血圧予防





※『栄養ゆめだより』は、渡辺医院ホームページにも掲載しています。

当日の感想

初めての試みに試行錯誤をしながら内容を考えました。このようなかたちで地域に貢献でき、大変やりがいを感じました。

このような機会をいただき、とても感謝しております。今後もゆめの里職員が皆様の健康をサポートできるように、様々な取り組みをしてまいります。

みんなの作品集

デイケア利用者様の作品をご覧ください。
スタッフと一緒に季節のクラフトに
取り組まれています。